

令和 7 年度災害廃棄物処理計画策定・改訂支援報告

1. 目的

近年、自然災害が頻発化、激甚化してきており、全国各地で豪雨や地震等により膨大な災害廃棄物が発生している。東北ブロック（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）においても豪雨災害が頻発しており、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など甚大な被害をもたらす地震・津波災害の発生確率も高まっている。

こうしたなか、東北ブロック内の市町村の災害廃棄物処理計画（以下、「処理計画」という。）の策定率は年々上昇しているものの、全国平均を下回る状況にある。

災害への備えや災害発生時の迅速・的確な対応に不可欠な処理計画については、国土強靭化基本計画においても早急な策定が明示されており、第五次循環型社会形成推進基本計画（令和 6 年 8 月）においては数値目標も設定されている。

本処理計画策定・改訂支援業務は、こうした状況を踏まえ、今後も頻発が予想される大雨や短時間での記録的降雨、さらには巨大地震等の大規模災害の発生に備え、市町村による処理計画の策定又は改訂に向けた支援を行うことで、災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するための廃棄物処理体制の整備を推進するとともに、東北ブロック内における市町村の処理計画策定率の向上を図ることを目的とする。

処理計画策定率：市町村 100%（2030 年度）

処理計画における水害の想定率：市町村 60%（2030 年度）

2. 参加市町村

東北ブロック内の市町村に対して県を経由して参加意向調査を行い、参加意向のあった次の市町村を支援対象とした。

（1）処理計画策定（15 市町村）

- ・青森県：黒石市、板柳町、蓬田村
- ・岩手県：久慈市、二戸市、西和賀町、大槌町
- ・宮城県：気仙沼市
- ・福島県：国見町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、中島村、富岡町

（2）処理計画改訂（3 市町）

- ・岩手県：矢巾町
- ・山形県：米沢市、金山町

【参考】

○上記処理計画策定参加市町村（15 市町村）とは別に、令和 7 年度中に処理計画を策定又は策定見込みの 5 町村

- ・青森県：深浦町、西目屋村
- ・宮城県：川崎町、大和町
- ・福島県：矢吹町

3. 概要

環境省の「災害廃棄物対策指針」及び「災害廃棄物処理計画策定・点検ガイドライン」(令和5年4月)を参考とし、参加市町村の地域防災計画、県の処理計画との整合を考慮したうえで処理計画の策定・改訂の支援を行った。

参加市町村への事前調査の実施【令和7年8月～9月】

想定災害と被害想定、災害時の廃棄物処理に関する組織体制・人員配置、災害時の廃棄物処理に関する協定、既存の廃棄物処理施設の処理可能量、仮置場候補地、策定・改訂にあたっての要望事項などについて、事前調査表により把握した。

処理計画(原案)の提示及びヒアリング調査の実施【令和7年10月～11月】

事前調査表の内容や既往資料の収集・分析等を踏まえ、処理計画(原案)を作成・提示するとともに、参加市町村を訪問してヒアリング調査を実施した。主に次の3点を重点事項としてヒアリング調査を行った。

- 1)想定する災害及びそれに基づく災害廃棄物発生量の推計
- 2)災害廃棄物対策の担当組織及び処理体制の明確化
- 3)仮置場候補地の選定

処理計画(素案)の提示及び意見等の反映【令和8年1月末】

ヒアリング調査の結果を踏まえ、処理計画(素案)を作成・提示するとともに、素案に対する参加市町村の意見・要望等を聴取した。

処理計画(案)の提示【令和8年2月中旬】

処理計画(素案)に対する意見等を踏まえ、処理計画(案)を提示した。

参加市町村においては、処理計画(案)に基づき、府内の調整や手続き等を行ったうえで、処理計画の策定又は改訂を行う予定